

平成25年度 法人運営目標・実行プラン



平成25年度運営目標

「地域で最高の介護・福祉サービスを提供する為、利用者の立場からサービス内容を見直す。」

施設側から提供する画一的サービスではなく、利用者側から見て必要なサービスを提供する。例えば、塗り絵が必要でない方には塗り絵は止めて、その方が言語能力に問題があれば書字訓練を行う等。

的確なサービスを提供するために、利用者の能力を適切に評価できるよう取り組む。また、その方の今までの生き方や今後どのように生きたいかなどの情報共有に取り組むことにより、利用者の利用目的を明確にし、一人ひとりの個性の違いに配慮した対応方針を立案する。

これらの取り組みにより、利用者が自分でできることは自分でするという意欲が高まり、ケアの質が変わる。一方、業務の優先順位を見極め、サービスの効率を上げることにも取り組む。

一人ひとりに配慮した自立支援・在宅復帰在宅支援を推し進め、最終的に地域の介護福祉を向上させる。その過程で職員がさらに豊かになり、同時に法人も発展をとげる。



法人運営指針

I. 生活の継続に向けた取り組み

1. 相談窓口を一本化した「総合支援窓口」の創設を検討する。
2. ケアマネジメントの質の向上を図る。また、法人全体で利用者情報が一元管理できる体制を検討する。
3. 相談からサービス利用に結び付けられるように工夫する。在宅復帰などサービス終了後も次のサービスに適切につなげられるようにする。
例えば、お試し利用の実施。他サービスへの情報伝達の強化、ご本人や家族への指導の強化など。
4. 家族が励ましあえる場を提供する。

II. 安全かつ専門的技術の提供

1. 「顧客意識」「プロ意識」をもって接遇・マナーを実践する。
2. 食事、排泄、入浴などの基本介護技術を向上させる。
専門職の技術を評価する仕組みの検討を始め、数年後に人事評価の一部として反映させる。
3. ケアカンファレンスの質を向上させる。
4. リハビリを積極的に行う。
5. 認知症対策を強化する。
6. ターミナルケア実施について検討する。
7. 利用者の立場より、安全を考える。
夜間の安全について対策を考える。
段階的に施設の改修を検討・実行する。
車椅子などの備品の買い替えを検討する。

III. 法人内外との連携

1. 他事業所との連携を強化する。
2. 病院、クリニックとの連携を強化する。
3. ボランティアの支援を強化し、積極的に活動していただく環境を整える。

IV. 地域社会への貢献

1. 介護予防、認知症予防、介護教室等を開催する。
2. 奈良市、地域と連携して、災害対策強化を図る。

V. 適切な事業運営

1. 従業員がやりがいを感じる職場づくりを行う。
挨拶を徹底し、風通しの良い職場とする。
組織活性化のために、職員異動を積極的に行う。
業務の効率化や勤務の工夫、部署内の助け合いにより、休暇を取りやすい風土を創る。
2. 第2回顧客満足度調査を行う。（平成28年3月「ご利用者満足度 大変満足80%の実現」を目指す。）

VI. その他

1. 平成26年4月9日ウィンドウズXPに対するマイクロソフトのサポートが停止されるため、対応策を検討する。
2. 自転車、バイク通勤の増加にともない、駐輪場を増設する。